

静岡県月例経済報告

(令和2年5月号)

……令和2年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 529

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和2年3月を中心とした静岡県の景気は、悪化している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響から景気が下押しされ、さらに悪化することが懸念される。

雇用情勢は、注意を要する状態にある。

- ・ 個人消費は、減少している。
- ・ 設備投資は、日銀短観（3月調査）では増加が見込まれるが、このところ弱含んでいる。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、減少している。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、減少している」

大型小売店販売額（3月）は、スーパーが2か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店が6か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（3月）は、ドラッグストアが5か月連続、ホームセンターが2か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車（新車）新規登録台数（3月）は、乗用車、軽自動車がいずれも6か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも6か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（3月）は、持家が9か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家が3か月連続、分譲住宅が4か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額（3月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、日銀短観（3月調査）では増加が見込まれるが、このところ弱含んでいる」

日銀短観（3月調査）の令和2年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

一方、新型コロナウイルス感染症による先行きの不透明感から、設備投資の絞り込みや先送りの動きが広がっている。

着工建築物床面積（非居住用）（3月）は、4か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、減少している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（3月）は、自動車²が2か月連続、科学光学機器が10か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも2か月連続、エアコンが7か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（3月）は、紙類及び同製品が2か月連続、原動機が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が8か月連続、木材が2か月ぶり、パルプが6か月連続、自動車の部分品が12か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも11か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、917億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、減少している」

鉱工業生産指数（2月）は、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が4か月連続、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも7か月連続、輸送機械が13か月連続、化学が3か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも9か月連続で前年水準を下回った。また、前月比2か月ぶりに低下した。

なお、鉱工業在庫指数（2月）は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、注意を要する状態にある」

有効求人倍率（3月）は1.22倍で、前月を0.05ポイント下回った。また、74か月連続で1倍を上回った。なお、12か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、7か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（1月）は、12か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額の前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（3月）は、前年同月比 0.8%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比 49.6%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（4月）は、件数は24件（前年同月比 41.1%増）、負債総額は74億9,300万円（同191.3%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス> 「バイ・シズオカ」の推進

買って繋がる“ふじのくに”「バイ・シズオカ」を推進します！

感染症防止対策と社会経済活動の両立を図るためには、GDPの5割以上を占める個人消費の動向が鍵であることから、「バイ・シズオカ」の展開により、着実に県内経済の回復を図っていきます。

富士山を共有する山梨県との間で、県産品の購入や施設利用で相互に連携する「バイ・ふじのくに」の推進にも注力します。

【基本的な考え方】

- ・アフターコロナを見据え、「3密」に配慮した「非接触・遠隔型」の取組を中心に、県民が積極的に県産品の購入や県内施設を利用する、新しい生活様式の一つとして「バイ・シズオカ」を県民運動として展開します。一過性ではない持続的な取組に位置付け、県民の行動変容を促します。
- ・現下の厳しい状況を県民の共助で乗り越える社会システムの構築を目指します。
- ・域内消費を活性化し、地域経済の循環を促すことで、モノの長距離輸送を減らし、地球環境の保護にも貢献します。

【具体的な取組】

- ◎ 「非接触・遠隔型」による県産品の販売促進
⇒ 「しずおか 手しお屋」(JA静岡経済連)や、WEB上での仮想店舗で県産品を販売
- ◎ 持続的な県民運動の展開
⇒ ロゴマークを策定し、PRサイトを設置
⇒ 市町、関係団体、生産者及び事業者等と連携
- ◎ 3密に配慮した、スーパー等での県産品の販売促進
⇒ 地元スーパーで県産品を専門に販売する「バイ・シズオカ」コーナーを設置
- ◎ 新たな流通体制を活かした需要拡大
- ◎ 新型コロナを契機とした新商品の開発や衛生資材の生産支援
- ◎ 産業関係者が連携した需要・供給拡大
- ◎ 感染防止対策に対応した安全安心な県内宿泊施設の利用促進
- ◎ 山梨県との連携「バイ・ふじのくに」

【ロゴマーク】



.....
ロゴマークは、富士山の下で県民が支えあって元気になるイメージで、英語の「BUY（買う）」と「BY（寄り添う）」のどちらにも読めるデザインとなっています。

「バイ・シズオカ」の趣旨にご賛同し、取組にご協力いただける事業者や団体の皆様は、ぜひ店頭やウェブサイトなどでのロゴマークの活用をお願いします。
.....

※ロゴマークの使用を希望される方は、静岡県・マーケティング課までお問い合わせ下さい。
(TEL : 054-221-3653)

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 35,437百万円

*前年同月比： 5.9%減

(県内3百貨店、151スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は35,437百万円で、前年同月比 5.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.1%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同 28.9%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 2.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 32.8%減）、身の回り品（同 27.7%減）、家庭用品（同 15.5%減）がいずれも6か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は4.9%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
販売額(百万円)	34,021	35,248	31,310	33,275	41,861	33,831	30,869	35,437
前年同月比(%)	▲1.4	7.0	▲7.5	▲1.9	▲3.9	▲2.6	3.2	▲5.9
うち百貨店(%)	▲2.7	18.2	▲20.5	▲6.5	▲7.2	▲5.8	▲5.5	▲28.9
スーパー(%)	▲1.1	4.5	▲4.5	▲0.7	▲2.9	▲1.8	5.3	0.1
(参考1)全国前年同月比(%)	0.4	10.0	▲8.2	▲1.8	▲3.0	▲1.4	0.2	▲10.1
うち百貨店(%)	2.0	22.8	▲16.4	▲4.8	▲3.7	▲1.8	▲10.5	▲31.9
スーパー(%)	▲0.2	4.4	▲4.3	▲0.2	▲2.6	▲1.3	5.3	1.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.5	8.9	▲6.3	▲1.0	▲2.9	▲1.3	4.5	▲4.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
衣料品	0.9	14.0	▲16.8	▲3.2	▲8.4	▲7.0	▲3.7	▲32.8
うち紳士服・洋品	4.1	9.4	▲14.3	▲0.1	▲9.8	▲7.5	▲3.7	▲29.1
婦人・子供服・洋品	1.4	14.7	▲17.4	▲4.5	▲7.8	▲6.8	▲3.4	▲34.4
身の回り品	1.4	22.3	▲23.6	▲9.8	▲12.5	▲5.3	▲6.0	▲27.7
飲食料品	▲1.6	0.1	▲2.7	▲0.4	▲1.0	▲0.9	5.1	2.5
家庭用品	1.0	20.8	▲14.6	▲2.0	▲9.9	▲4.0	▲0.7	▲15.5
うち家庭用電気機械器具	24.6	38.3	▲16.0	▲8.6	▲16.5	▲9.0	▲2.2	▲25.8

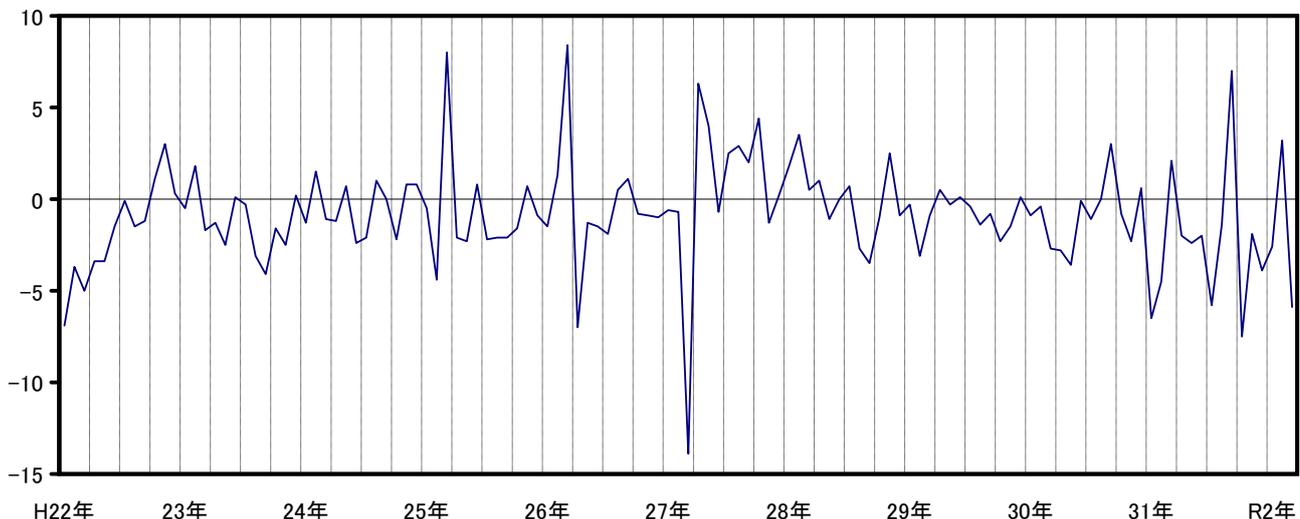
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 71,656百万円

*前年同月比： 0.4%減

(県内88家電大型専門店、1,684コンビニエンスストア、508ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は71,656百万円で、前年同月比 0.4%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、ドラッグストア（前年同月比 7.6%増）が5か月連続、ホームセンター（同 5.1%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 8.0%減）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 5.5%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
販売額(百万円)	76,745	78,161	65,726	66,472	77,821	67,663	67,080	71,656
前年同月比(%)	6.4	17.1	▲1.9	1.8	▲0.4	0.7	9.4	▲0.4
うち 家電大型専門店(%)	14.9	49.0	▲15.9	▲6.9	▲11.6	▲3.7	3.1	▲8.0
コンビニエンスストア(%)	0.7	▲0.2	2.3	2.1	▲0.3	0.5	3.5	▲5.5
ドラッグストア(%)	7.5	22.3	▲3.8	2.7	3.2	4.3	18.7	7.6
ホームセンター(%)	5.5	23.9	▲9.3	▲4.1	▲5.4	▲3.7	10.6	5.1
(参考)全国前年同月比(%)	6.2	16.1	▲1.0	1.2	▲1.1	2.1	8.5	▲1.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

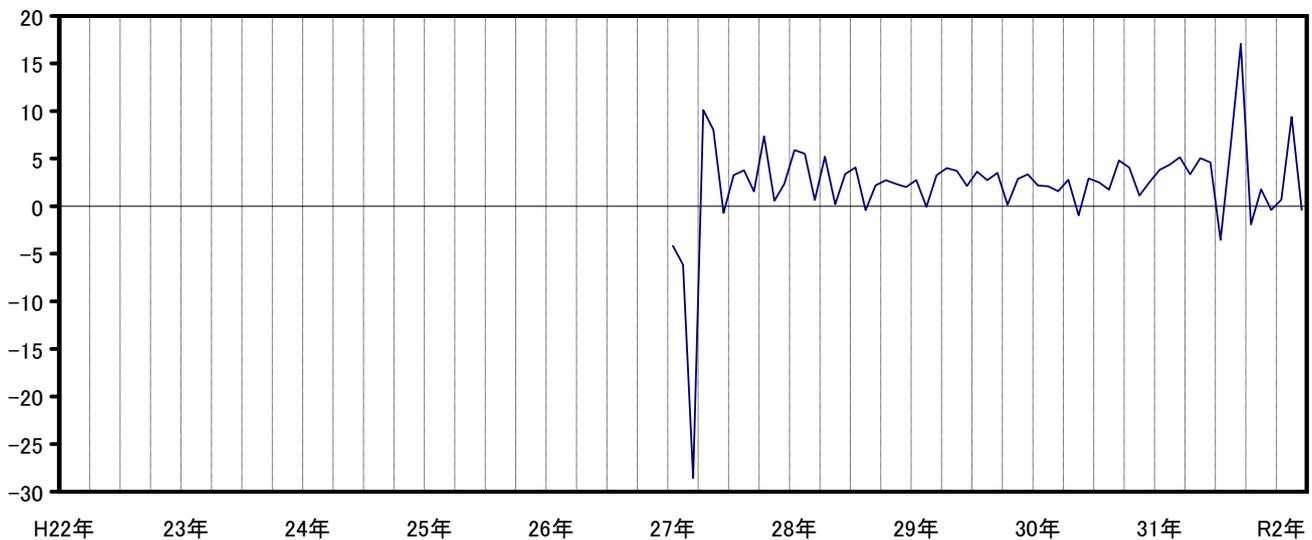
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数**3月 = 20,352台**

*前年同月比： 8.1%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は20,352台(前年同月比 8.1%減)と、6か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 11.4%減)、軽自動車(同 4.0%減)がいずれも6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
登録台数(台)	12,987	18,730	10,962	12,913	11,882	13,792	15,947	20,352
前年同月比(%)	8.1	11.7	▲22.2	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1
(参考)全国前年同月比(%)	4.9	13.6	▲25.1	▲11.6	▲11.1	▲12.1	▲9.8	▲8.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

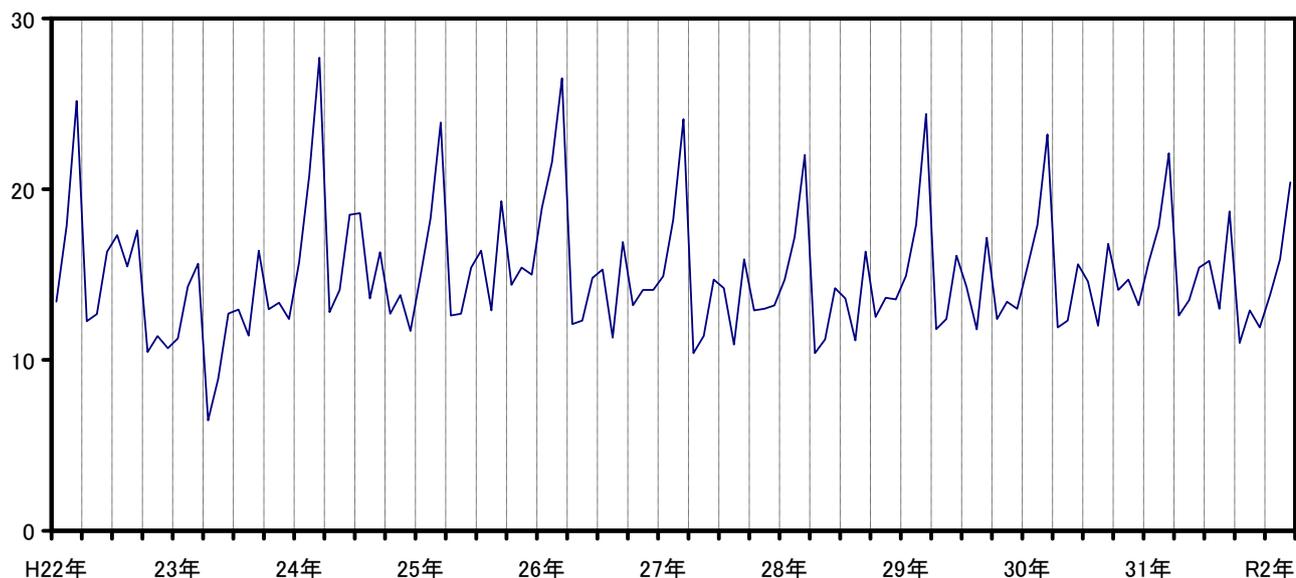
	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
全乗用車	8.1	11.7	▲22.2	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1
乗用車	0.8	10.4	▲28.1	▲18.3	▲8.3	▲16.9	▲13.2	▲11.4
軽自動車	17.2	13.4	▲15.1	▲4.5	▲12.2	▲6.2	▲6.7	▲4.0

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,624 戸

*前年同月比： 1.1%減

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,624戸で、前年同月比 1.1%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 5.8%増）が9か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家（同 6.6%減）が3か月連続、分譲住宅（同 11.4%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

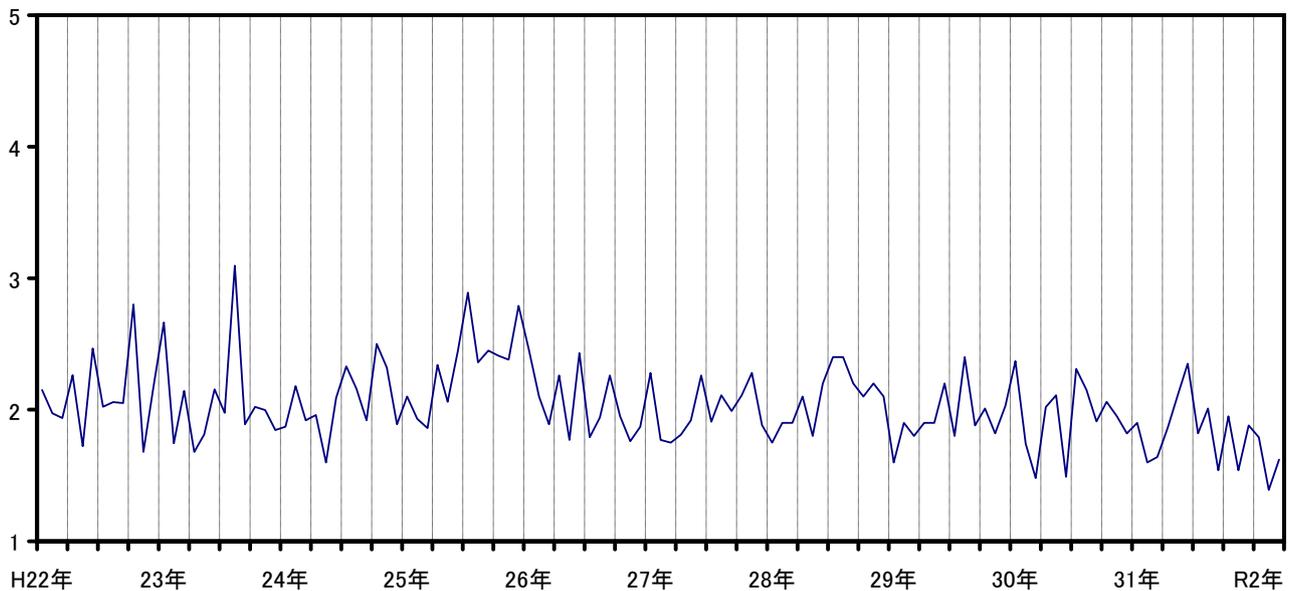
	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
戸数（戸）	2,013	1,536	1,951	1,539	1,882	1,792	1,391	1,624
前年同月比（%）	▲ 6.5	▲ 19.5	▲ 5.2	▲ 21.1	3.3	▲ 5.5	▲ 13.2	▲ 1.1
うち持家（%）	▲ 4.8	▲ 6.6	▲ 3.3	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 8.5	▲ 18.9	5.8
貸家（%）	0.0	▲ 32.1	▲ 25.3	▲ 46.8	20.0	▲ 10.5	▲ 21.4	▲ 6.6
分譲住宅（%）	▲ 19.2	▲ 35.3	30.4	▲ 11.7	2.7	2.7	21.8	▲ 11.4
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 7.1	▲ 4.9	▲ 7.4	▲ 12.7	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 12.3	▲ 7.6

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

3月 = 21,165百万円

*前年同月比：46.0%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は21,165百万円で、前年同月比46.0%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は378件で、前年同月比41.0%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
金額(百万円)	30,036	64,202	33,436	17,066	15,352	14,407	13,907	21,165
前年同月比(%)	5.9	55.9	40.2	15.1	▲31.2	52.8	29.9	46.0
年度累計前年同月比(%)	26.1	31.6	32.4	31.4	26.5	27.3	27.4	28.3
件数(件)	761	1,076	931	675	545	385	297	378
前年同月比(%)	▲11.2	▲9.2	26.2	▲2.2	▲24.2	22.2	78.9	41.0
年度累計前年同月比(%)	▲4.0	▲5.3	▲1.1	▲1.2	▲3.6	▲2.4	▲0.6	0.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

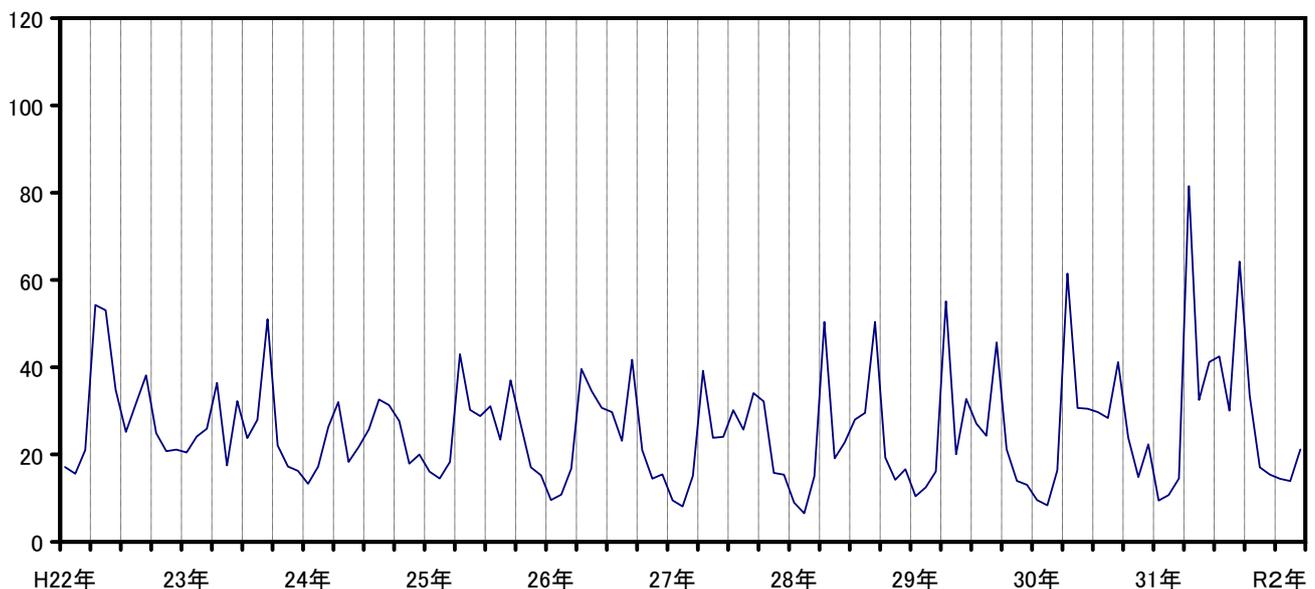
	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
国	60.8	11.9	194.5	30.5	▲28.7	24.4	79.8	58.9
独立行政法人等	41.5	257.1	▲79.6	66.2	53.0	271.0	9.4	▲86.6
県	▲14.4	16.6	142.7	83.1	▲32.8	66.0	48.6	191.3
市町	6.5	6.3	4.7	▲2.1	▲44.6	27.8	51.2	22.8
地方公社	1,143.7	▲8.8	308.0	▲9.7	▲82.4	1,713.8	-	-
その他	▲6.6	175.8	91.5	▲73.6	▲71.1	329.2	▲89.7	▲93.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 10.2%増）、非製造業（同 1.1%増）、全産業（同 5.9%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 4.7%増）、非製造業（同 2.4%増）、全産業（同 4.1%増）においていずれも増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は88,664㎡で、前年同月比 15.5%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)
全産業	県	(0.8) 6.5	5.9
	全国	(▲0.5) 2.7	▲0.4
製造業	県	(▲6.1) 11.9	10.2
	全国	(▲2.6) 4.1	2.4
非製造業	県	(9.4) 1.3	1.1
	全国	(0.7) 1.9	▲2.0

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲0.4) 4.4	4.1
	全国	(▲0.8) 4.2	1.2
製造業	県	(▲3.2) 5.3	4.7
	全国	(▲1.9) 3.4	2.5
非製造業	県	(8.3) 2.1	2.4
	全国	(0.4) 5.1	▲0.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和2年3月調査)」

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	118,214	91,195	189,974	118,282	131,035	65,693	68,069	88,664
前年同月比（%）	▲23.1	▲61.5	64.0	35.4	▲38.2	▲4.1	▲55.5	15.5
（参考）全国前年同月比（%）	▲5.1	▲18.4	▲14.8	▲9.7	▲2.5	▲25.1	▲2.6	11.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R元年12月	R2年3月	R2年6月 (予測)
全産業	全産業	▲1	▲10	▲23
	製造業	▲10	▲19	▲29
	非製造業	6	▲3	▲19
（参考）全国・全産業		4	▲4	▲18

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年3月調査)」

5 輸出

3月 = 181,039百万円

*前年同月比： 10.3%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は181,039百万円で、前年同月比 10.3%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 15.1%増）が2か月連続、科学光学機器（同 19.8%増）が10か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 14.7%減）、自動車の部分品（同 25.8%減）がいずれも2か月連続、エアコン（同 20.6%減）が7か月連続、二輪自動車類（同 6.5%減）が3か月連続で前年実績を下回った。
 地域別にみると、アジア向け（前年同月比 14.2%減）が3か月ぶり、米国向け（同 10.2%減）が8か月連続、EU向け（同 11.3%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	162,444	163,977	187,463	176,427	186,921	154,849	177,796	181,039
前年同月比(%)	▲ 6.8	▲ 14.8	0.4	▲ 2.0	▲ 11.5	2.6	▲ 1.5	▲ 10.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
原動機	▲ 16.0	▲ 28.2	▲ 11.5	▲ 13.3	▲ 18.5	4.9	▲ 13.4	▲ 14.7
エアコン	0.1	▲ 26.2	▲ 0.8	▲ 30.0	▲ 38.4	▲ 6.1	▲ 27.7	▲ 20.6
自動車	▲ 13.2	▲ 29.0	▲ 10.9	12.8	14.5	▲ 21.1	25.1	15.1
自動車の部分品	▲ 16.9	▲ 23.7	▲ 16.2	▲ 10.2	▲ 16.5	2.2	▲ 11.4	▲ 25.8
二輪自動車類	▲ 2.1	21.4	37.1	13.3	7.0	▲ 12.2	▲ 8.6	▲ 6.5
科学光学機器	41.0	19.1	31.1	8.8	20.3	52.4	42.0	19.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
アジア	▲ 2.8	▲ 13.5	0.2	▲ 3.7	▲ 6.4	8.0	2.4	▲ 14.2
米国	▲ 14.7	▲ 14.1	▲ 10.9	▲ 7.5	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 5.5	▲ 10.2
EU	▲ 4.4	▲ 16.7	22.2	11.8	▲ 14.9	▲ 0.3	▲ 4.3	▲ 11.3

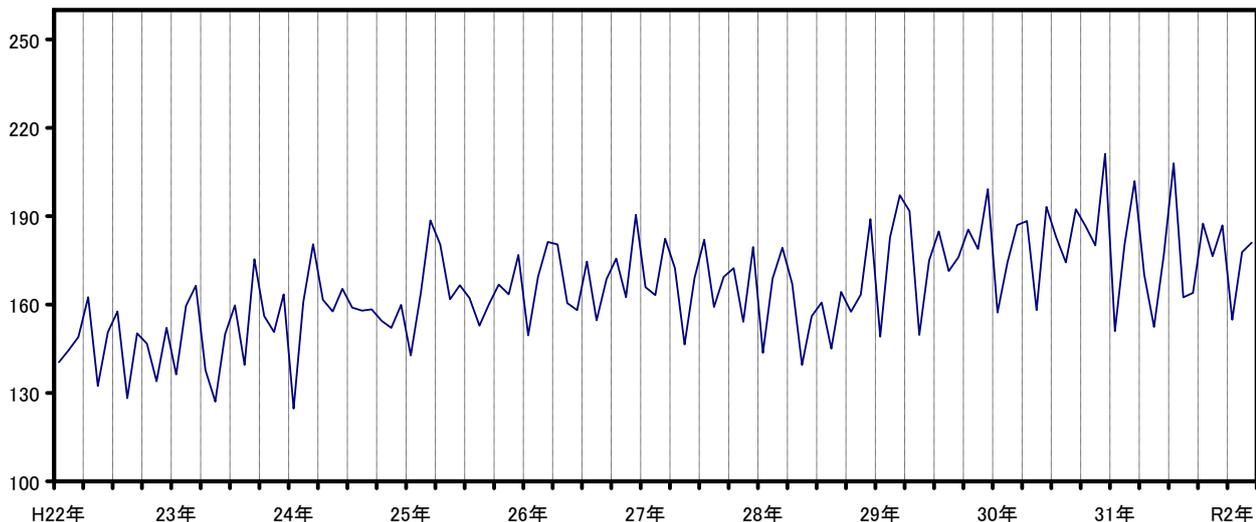
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

3月 = 89,319百万円

*前年同月比： 1.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は89,319百万円で、前年同月比 1.7%減となり、11か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 8.5%増）が2か月連続、原動機（同 44.1%増）が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 5.1%減）が8か月連続、木材（同 27.9%減）が2か月ぶり、パルプ（同 19.7%減）が6か月連続、自動車の部分品（同 5.0%減）が12か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 7.1%増）が2か月ぶり、米国から（同 3.1%増）が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、EUから（同 18.3%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	83,252	83,641	86,696	91,217	80,725	90,845	66,642	89,319
前年同月比(%)	▲ 6.8	▲ 1.2	▲ 17.4	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 13.0	▲ 13.9	▲ 1.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	▲ 25.5	▲ 7.0	▲ 18.3	▲ 10.8	▲ 32.6	▲ 28.9	▲ 17.0	▲ 5.1
木材	▲ 18.3	▲ 1.7	▲ 14.5	11.4	2.4	▲ 13.9	6.4	▲ 27.9
パルプ	▲ 0.8	5.4	▲ 43.8	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 50.3	▲ 15.5	▲ 19.7
紙類及び同製品	26.7	▲ 8.0	9.8	▲ 14.5	15.2	▲ 7.9	54.2	8.5
原動機	0.9	67.2	1.0	▲ 15.4	▲ 15.5	▲ 20.5	▲ 29.0	44.1
自動車の部分品	▲ 34.8	▲ 20.5	▲ 42.5	▲ 40.3	▲ 34.6	▲ 9.9	▲ 41.2	▲ 5.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

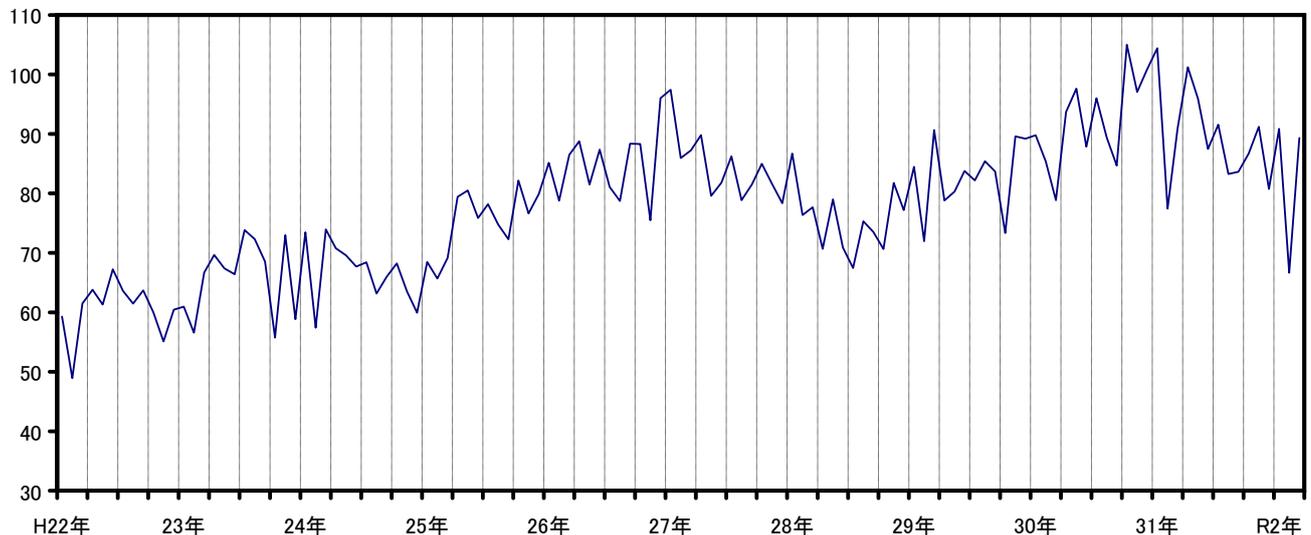
	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
アジア	▲ 10.8	10.0	▲ 10.8	▲ 10.1	▲ 14.4	3.7	▲ 26.9	7.1
米国	▲ 24.1	19.9	▲ 3.2	▲ 8.2	▲ 10.7	▲ 12.5	▲ 15.4	3.1
EU	▲ 22.6	▲ 2.0	▲ 37.4	▲ 27.1	▲ 32.9	▲ 40.9	▲ 18.6	▲ 18.3

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

2月 = 98.6

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.2%減

*前年同月比(原指数) : 7.1%減

<概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は98.6(季節調整済指数)で、前月比2.2%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は7.1%減と、9か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比3.2%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同15.3%減)が4か月連続、電気機械(同21.8%減)、パルプ・紙・紙加工品(同5.4%減)がいずれも7か月連続、輸送機械(同6.2%減)が13か月連続、化学(同1.8%減)が3か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
指数	102.3	98.0	100.2	99.7	102.3	98.9	100.8	98.6
前月比(%)	3.9	▲4.2	2.2	▲0.5	2.6	▲3.3	1.9	▲2.2
前年同月比(%)	▲0.6	▲8.2	▲4.9	▲7.1	▲5.8	▲5.9	▲4.3	▲7.1
(参考)全国前年同月比(%)	0.7	▲4.7	1.1	▲7.7	▲8.1	▲3.1	▲2.5	▲4.7

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	21.1	5.4	▲7.6	1.8	▲0.5	▲4.5	▲7.6	▲15.3
電気機械工業	0.8	▲17.3	▲14.6	▲11.4	▲4.7	▲8.3	▲16.0	▲21.8
輸送機械工業	▲11.8	▲12.6	▲10.6	▲10.3	▲6.6	▲8.5	▲5.7	▲6.2
化学工業	2.0	▲6.4	5.4	▲0.9	▲7.7	3.0	3.0	▲1.8
パルプ・紙・紙加工品工業	4.3	▲14.1	▲7.7	▲8.6	▲9.4	▲4.2	▲5.4	▲5.4
食料品・たばこ工業	4.8	▲0.6	5.0	▲6.4	0.4	▲3.4	2.8	3.2

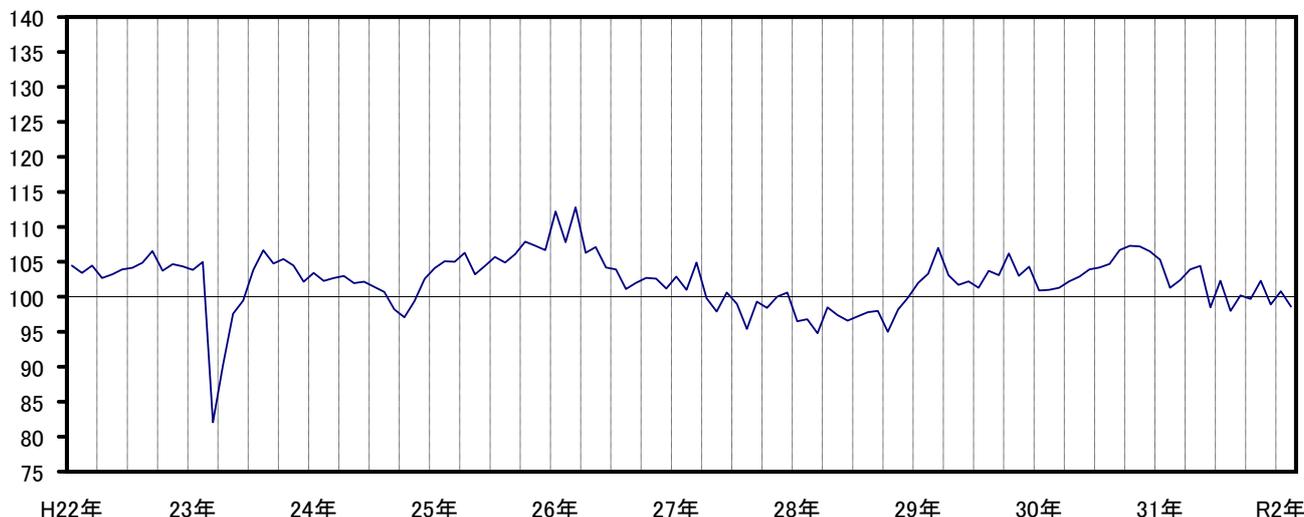
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

2月 = 108.0

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 5.8%減

*前年同月比(原指数) : 1.3%増

<概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は108.0(季節調整済指数)で、前月比は5.8%減と、5か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は1.3%増と、2か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、電気機械(前年同月比11.7%減)が2か月連続、化学(同10.9%減)が2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同31.0%増)が14か月連続、輸送機械(同32.5%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同6.9%増)が4か月連続、食料品・たばこ(同11.8%増)が12か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
指数	107.3	110.1	105.3	107.6	109.0	113.8	114.7	108.0
前月比(%)	0.7	2.6	▲4.4	2.2	1.3	4.4	0.8	▲5.8
前年同月比(%)	1.5	1.1	▲9.5	▲3.2	▲0.8	▲0.4	4.8	1.3
(参考)全国前年同月比(%)	2.4	2.7	0.7	2.6	1.5	1.3	3.8	1.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	22.1	23.2	22.9	24.9	33.4	29.6	31.3	31.0
電気機械工業	13.2	9.0	7.4	2.6	2.4	3.7	▲0.4	▲11.7
輸送機械工業	▲33.8	▲24.8	▲47.9	▲18.7	▲27.3	▲19.3	6.8	32.5
化学工業	0.7	3.5	▲17.4	▲8.8	4.9	▲3.6	6.8	▲10.9
パルプ・紙・紙加工品工業	6.9	2.1	▲7.5	▲1.6	0.3	8.8	10.5	6.9
食料品・たばこ工業	24.7	19.0	16.0	6.6	5.0	20.2	6.0	11.8

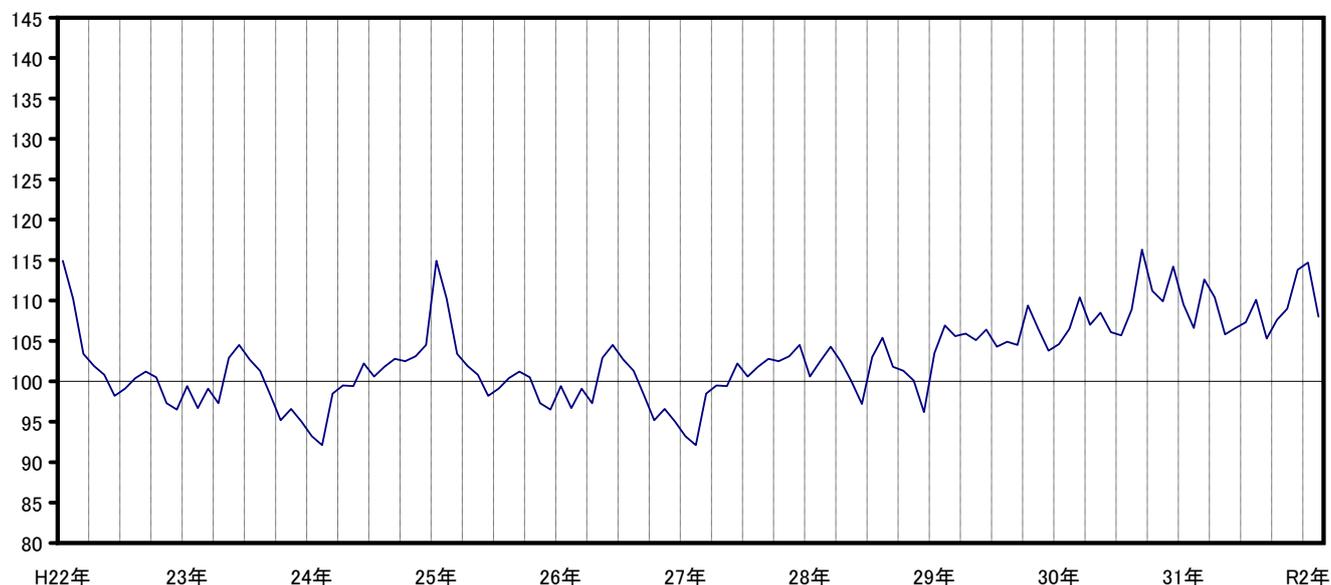
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.22倍

*前月比 (季節調整値) : 0.05ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

3月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.22倍となり、前月を0.05ポイント下回った。また、12か月連続で全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比18.9%減)は19か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比9.1%減)、運輸業・郵便業(同9.1%減)、卸売業・小売業(同12.2%減)がいずれも3か月連続、製造業(同31.2%減)が16か月連続、情報通信業(同53.3%減)が2か月連続、医療・福祉(同16.8%減)が5か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同41.1%減)が11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
県	1.56	1.54	1.51	1.47	1.47	1.38	1.27	1.22
全 国	1.59	1.58	1.58	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
建 設 業	▲ 1.6	9.0	0.0	▲ 7.0	2.0	▲ 13.4	▲ 17.6	▲ 9.1
製 造 業	▲ 20.6	▲ 12.6	▲ 20.7	▲ 26.3	▲ 16.2	▲ 26.2	▲ 28.1	▲ 31.2
情 報 通 信 業	▲ 14.9	▲ 24.7	▲ 13.7	13.2	▲ 37.7	2.5	▲ 29.4	▲ 53.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 5.6	11.7	▲ 6.1	▲ 12.8	21.4	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 9.1
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 25.7	30.1	▲ 16.8	▲ 20.0	0.4	▲ 25.1	▲ 27.6	▲ 12.2
医 療 ・ 福 祉	3.0	▲ 5.5	2.6	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 3.3	▲ 17.2	▲ 16.8
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 21.1	▲ 30.8	▲ 29.1	▲ 41.2	▲ 13.0	▲ 42.6	▲ 51.4	▲ 41.1
合 計	▲ 11.2	▲ 4.1	▲ 14.1	▲ 18.5	▲ 5.8	▲ 23.3	▲ 28.9	▲ 18.9

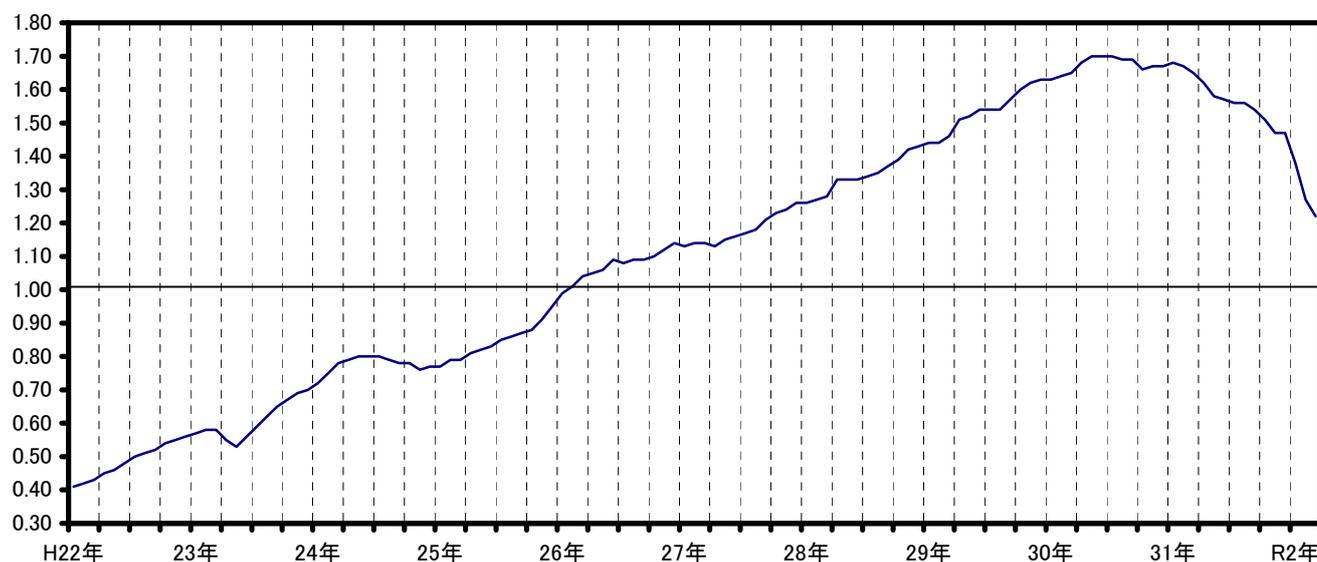
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 10,192人

*前月比: 0.5%増

*前年同月比: 7.7%増

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は10,192人で、前月比は0.5%増と、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は7.7%増と7か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.5%と前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(令和元年10月~12月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和元年7月~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
実人員(人)	11,366	11,529	11,551	10,895	10,675	10,717	10,142	10,192
前月比(%)	▲0.5	1.4	0.2	▲5.7	▲2.0	0.4	▲5.4	0.5
前年同月比(%)	▲0.4	8.7	6.1	6.9	11.5	8.0	6.5	7.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.0	3.3	0.2	1.5	8.1	6.2	3.6	6.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.2	2.4	2.4	2.2	2.2	2.4	2.4	2.5

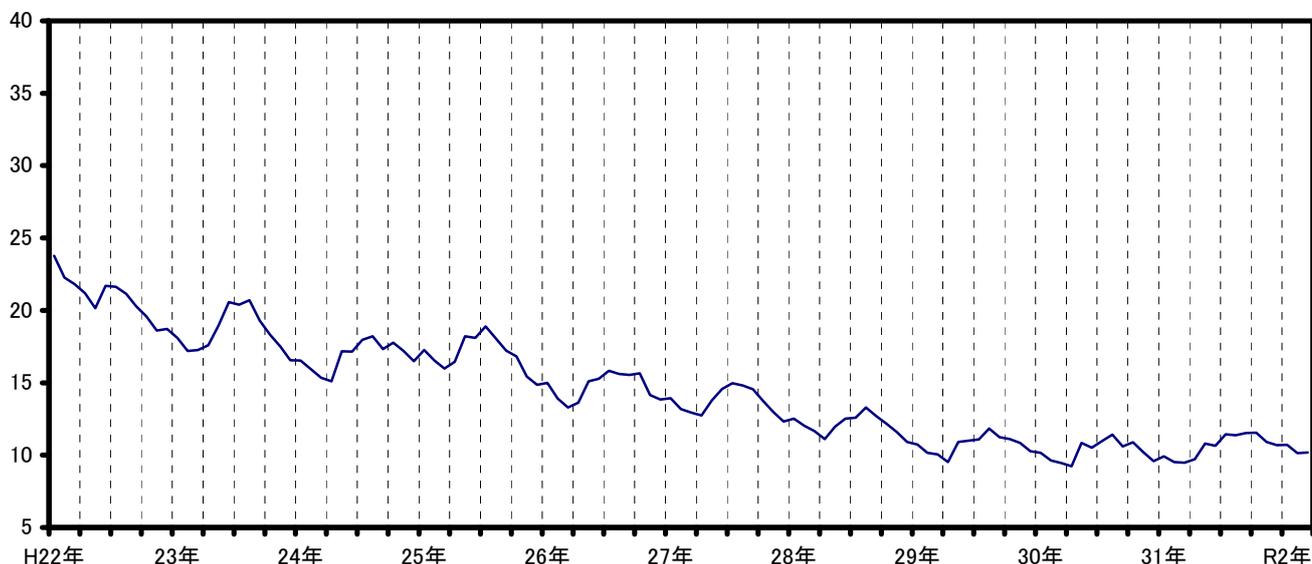
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

1月 = 90.8

*前月比(季節調整済指数): 7.6%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 3.2%減

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は90.8(季節調整済指数)で、前月比7.6%増となった。また、前年同月比(原指数)は3.2%減と12か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比73.3%増)が8か月連続、卸売業・小売業(同3.9%増)が15か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同9.6%減)が15か月連続、情報通信業(同24.4%減)、その他のサービス業(同6.5%減)がいずれも2か月連続、運輸業・郵便業(同11.9%減)、医療・福祉(同1.4%減)がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
指数	84.1	88.4	90.9	87.6	85.1	81.8	84.4	90.8
前月比(%)	▲4.4	5.1	2.8	▲3.6	▲2.9	▲3.9	3.2	7.6
前年同月比(%)	▲11.1	▲8.9	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.8	▲0.8	▲1.7	0.0	▲2.3	▲3.8	▲3.9	▲2.5

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
建設業	103.2	137.8	177.0	177.0	152.7	159.7	178.9	73.3
製造業	▲18.4	▲19.1	▲12.8	▲16.7	▲19.8	▲21.3	▲16.2	▲9.6
情報通信業	25.5	28.9	12.2	12.4	▲6.7	1.2	▲8.3	▲24.4
運輸業・郵便業	▲8.1	0.0	0.0	3.3	3.5	▲2.2	▲1.8	▲11.9
卸売業・小売業	10.7	21.2	14.3	15.2	21.9	5.3	11.8	3.9
医療・福祉	▲17.7	▲6.9	▲16.1	23.5	0.0	▲20.5	▲1.7	▲1.4
その他のサービス業	1.4	▲3.7	▲6.6	6.3	▲5.7	0.0	▲6.7	▲6.5
調査産業計	▲11.1	▲8.9	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2

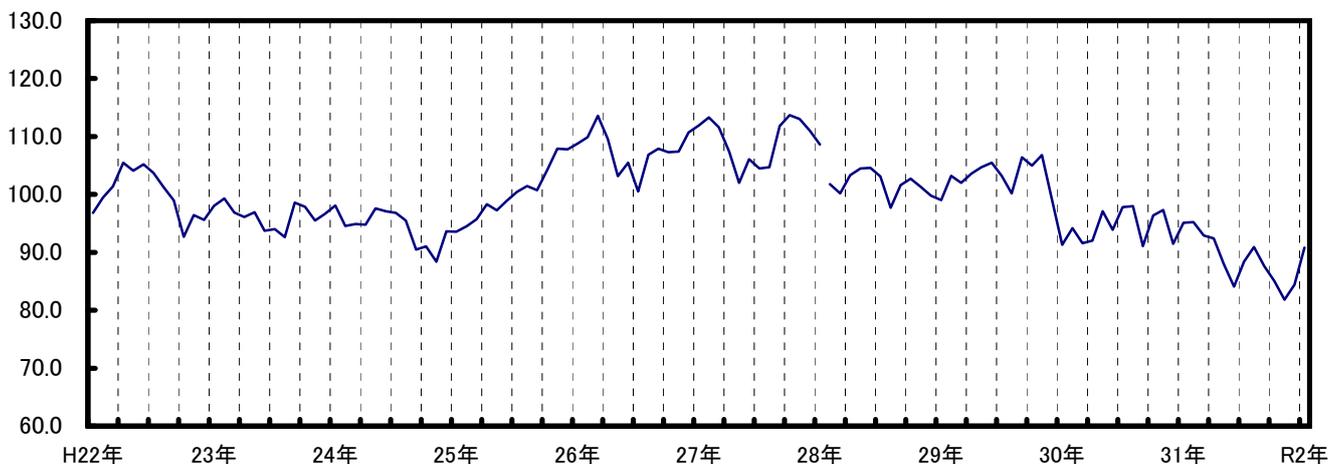
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 99.6

(平成27年=100)

*前 月 比: 1.5%下落

*前年同月比: 2.3%下落

<概 況>

4月の国内企業物価指数は99.6となり、前月を1.5%の下落となった。また、前年同月比は2.3%の下落となった。

<最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	100.9	102.1	102.2	102.3	102.4	102.0	101.1	99.6
前 月 比 (%)	0.0	1.2	0.1	0.1	0.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.5
前年同月比 (%)	▲ 1.1	▲ 0.3	0.2	0.9	1.5	0.8	▲ 0.4	▲ 2.3

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

3 月 = 137,249億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.4%増

*前年同月比: 0.8%減

<概 況>

3月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,249億円で、前月比は0.4%の増加となった。また、前年同月比は0.8%の減少となった。

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
貸出残高(億円)	135,630	136,142	134,978	135,303	136,220	136,481	136,721	137,249
前 月 比 (%)	▲ 0.0	0.4	▲ 0.9	0.2	0.7	0.2	0.2	0.4
前年同月比 (%)	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.8

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

3 月 = 1.740%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.021ポイント減

*前年同月差: 0.145ポイント減

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.740%で、前月から0.021ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.145ポイントのマイナスとなった。

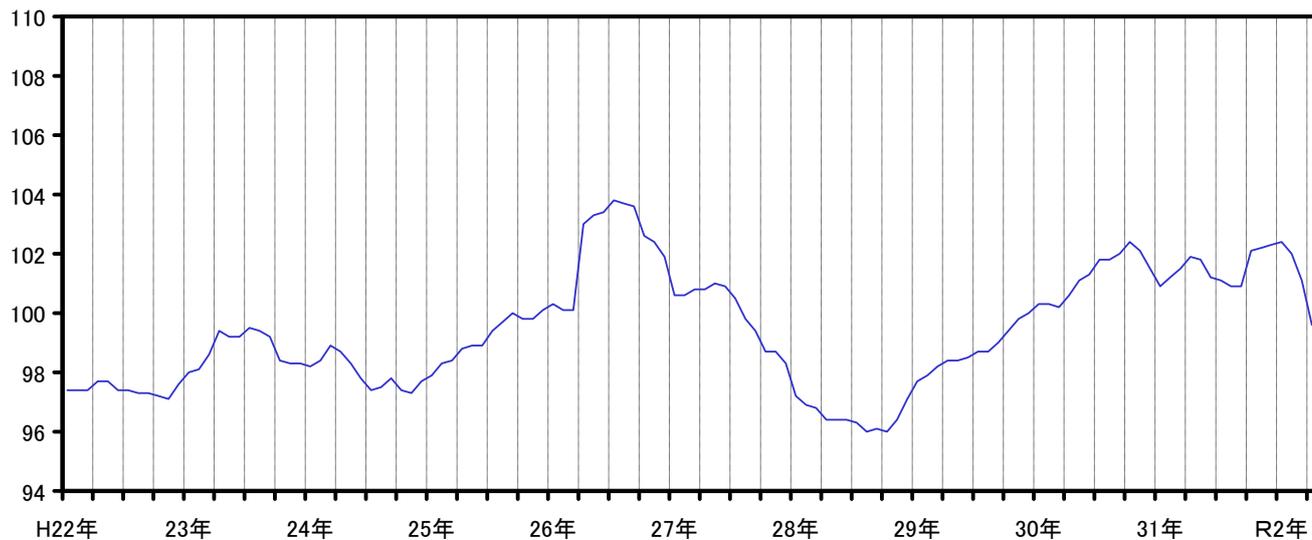
	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
貸出約定金利(%)	1.786	1.773	1.770	1.758	1.739	1.769	1.761	1.740
前月差(ポイント)	▲ 0.008	▲ 0.013	▲ 0.003	▲ 0.012	▲ 0.019	0.030	▲ 0.008	▲ 0.021
前年同月差(ポイント)	▲ 0.213	▲ 0.204	▲ 0.200	▲ 0.194	▲ 0.186	▲ 0.151	▲ 0.148	▲ 0.145

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

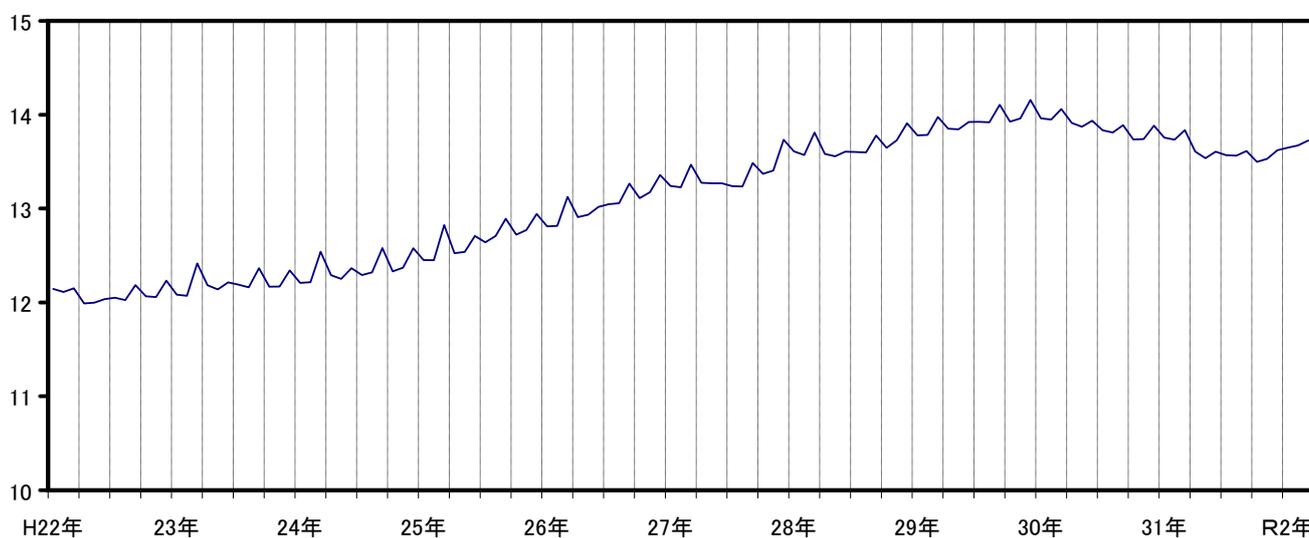
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



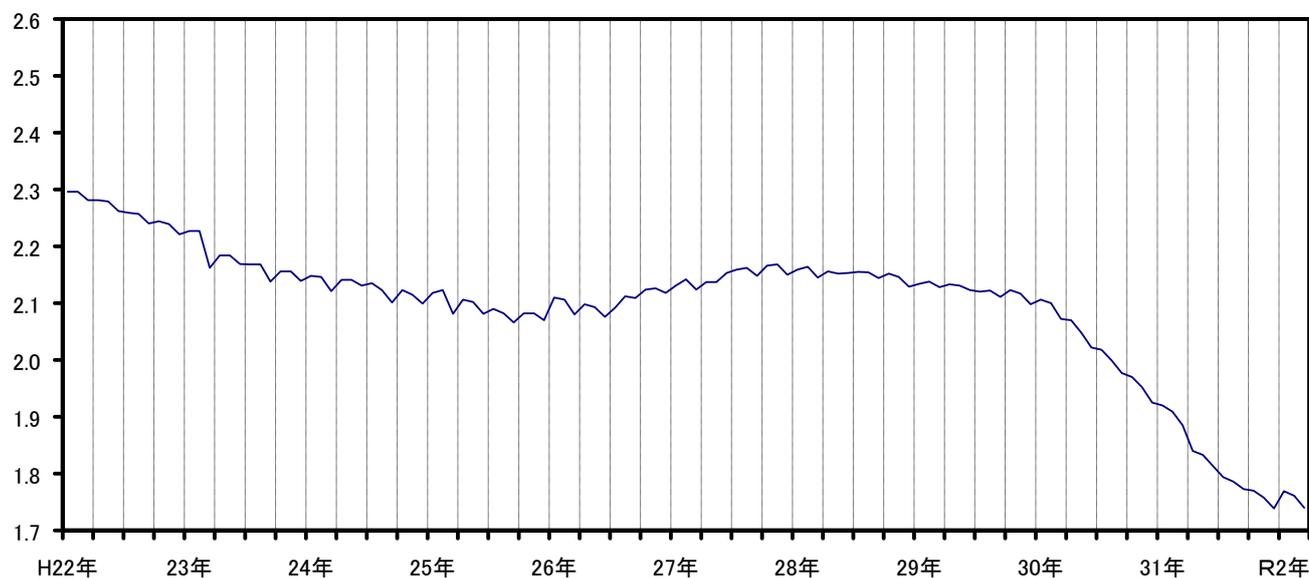
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 28,818百万円**

*前年同月比： 49.6%増

<概況>

3月の保証承諾は、金額は28,818百万円（前年同月比 49.6%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回り、件数は2,582件（同 34.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
保証金額(百万円)	14,709	18,990	17,473	20,407	20,126	13,977	14,832	28,818
前年同月比(%)	▲15.4	1.8	8.4	14.8	2.9	9.9	▲7.4	49.6
保証件数(件)	1,617	1,844	1,801	2,011	2,028	1,416	1,550	2,582
前年同月比(%)	▲18.7	▲0.8	6.4	15.3	7.4	5.7	▲2.7	34.0

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 107.93円/ドル**

*前月差： 0.64円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 3.73円高

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.93円で、前月と比べて0.64円の円安となり、2か月ぶりに円安となった。

<最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
平均相場(円)	107.41	108.12	108.86	109.18	109.34	109.96	107.29	107.93
前月差(円)	1.14	0.29	0.74	0.32	0.16	0.62	▲2.67	0.64
前年同月差(円)	▲4.48	▲4.66	▲4.51	▲3.27	0.39	▲0.40	▲3.92	▲3.73

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 24件**

*前年同月比： 41.1%増

<概況>

4月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は24件（前年同月比 41.1%増）、負債総額は7,493百万円（同 191.3%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が21件と全体の87.5%を占め、269か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

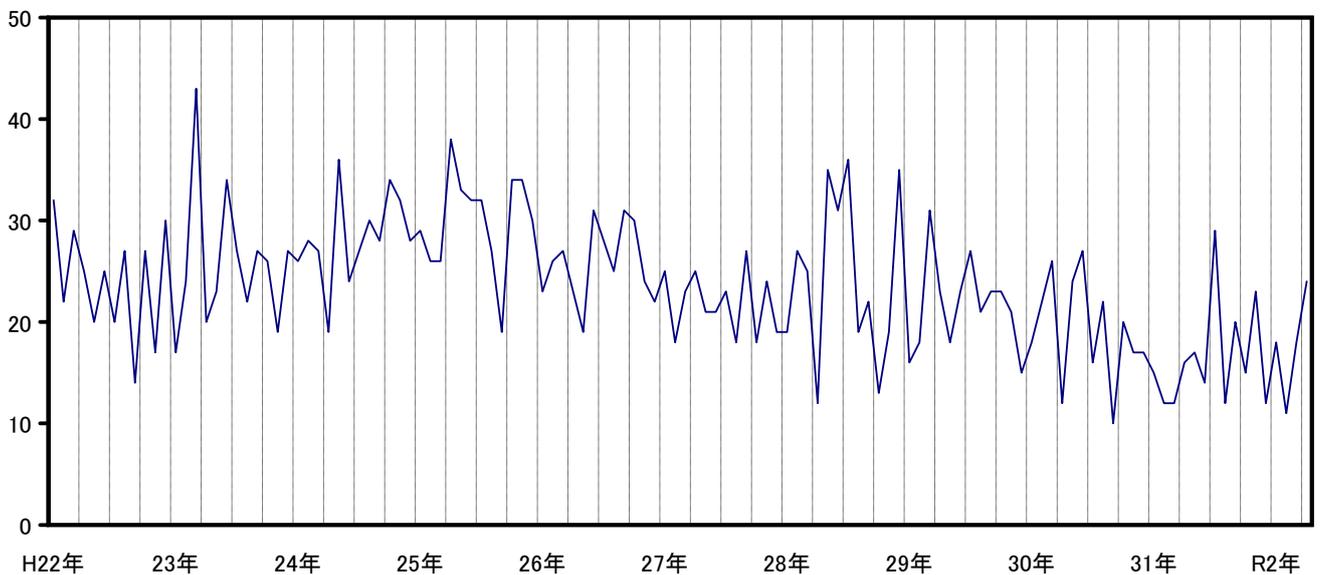
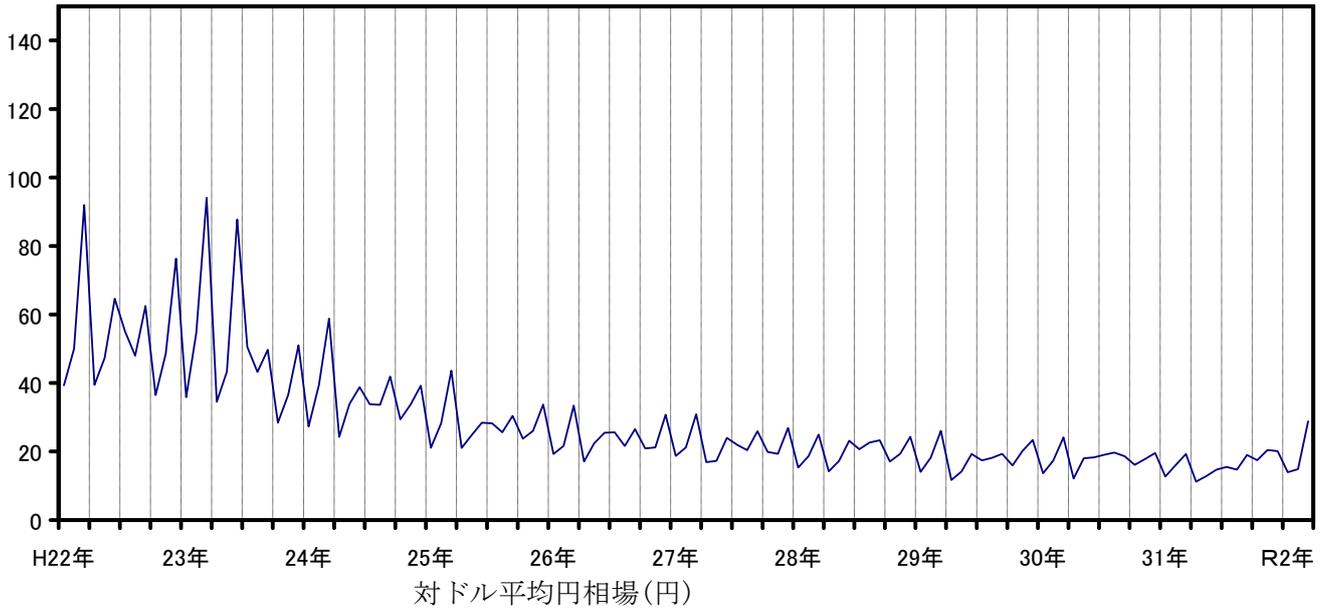
	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
倒産件数(件)	20	15	23	12	18	11	18	24
前年同月比(%)	100.0	▲25.0	35.2	▲29.4	20.0	▲8.3	50.0	41.1
うち不況型倒産件数(件)	17	11	22	10	14	11	17	21
負債総額(百万円)	1,542	1,722	2,905	41,289	5,945	1,448	2,270	7,493
前年同月比(%)	132.9	▲51.9	29.8	1,558.8	381.3	▲3.1	▲47.5	191.3

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



Ⅲ 令和2年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、51,978台（前年同月比 0.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,538台（同13.8%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,111台（同24.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,919台（同13.8%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、36,410台（同 3.8%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、28,038台（同 0.1%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、41,338台（同 9.2%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>2月の自動車国内生産台数は、769,161台（前年同月比 11.0%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。輸出は393,610台（同 5.6%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが7か月連続、乗用車が5か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は419億円（前年同月比 13.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は414千台（同 11.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは905千台（同 9.4%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。業務用は75千台（同 6.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、1,295千台（同 21.0%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、867千台（同 18.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は66.9%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、774億4,700万円（前年同月比 40.7%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は432億100万円（同 43.7%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが190億9,800万円（同 39.1%減）と、22か月連続で前年実績を下回った。内需は342億4,600万円（同 36.5%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「新型コロナウイルスの影響で生産計画が変更され、数日の休業を余儀なくされた。」という声や「新型コロナウイルスの影響で、海外出張不可による検収遅れや、電子部品の一部に調達難が出ており、いつ生産活動が停止するか危惧している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、46億8,325万円（前年同月比 9.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが23億8,356万円（同 10.0%減）と、国内向けが22億9,969万円（同 8.9%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,917台（同 1.7%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,936台（同 0.8%増）、グランドピアノ981台（同6.4%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,087台（同 7.6%減）、国内向けが1,063台（同 15.6%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,021千ト（前年同月比 6.1%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,056千ト（同 8.6%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。板紙は965千ト（同 3.1%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、544千ト（同16.2%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、201千ト（同27.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,006千箱（前年同月比 0.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は674千箱（同1.2%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は490千箱（同1.0%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は332千箱（同2.8%減）と、10か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,263千箱（同 6.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、1,164千㎡（前年同月比 14.3%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,080千㎡（同 15.8%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、84千㎡（同 9.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、22千㎡（同 16.4%減）と、24か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、42億7,038万円（前年同月比 24.4%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、511億8,208万円（同4.0%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,437百万円（既存店前年同月比5.9%減）と、前年実績を下回った。品目別では、飲食料品を除く全ての品目（衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）で、前年同月を下回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルスの影響で、来客数が大きく減少したほか、臨時休業日を設けたこと等により、売上げは前年同月を大きく下回った。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、新棟が開店した影響で、中旬までは堅調であったが、新型コロナウイルスの感染が全国規模に拡大していくにつれ、売上げは下降線をたどり、月全体での売上げは、前年同月を下回る結果となった。</p> <p>先月に引き続き、新型コロナウイルスの影響が売上げに大きく現れる結果となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約35万人と、前年同月比28.2%減だった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた施設が多く、3月2日から休館した掛川城の入込客数は前年比97.8%減と大きく減少した。一方、浜名湖ガーデンパークは、屋外の公園で子供連れの客が増加し、入込客数は前年比13.1%増だった。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約53万台となり、前年同月比13.3%減だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が9月28日から無料化されたことに伴い、10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＝ IV データからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	22,023	16,219	24,634	25,844	26,437	24,281	26,140	25,984	20,626
前年同月比(%)	72.3	49.9	14.8	▲11.7	0.9	▲1.1	7.6	3.1	▲5.6
KD輸出額(百万円)	1,528	959	1,020	1,233	1,576	1,544	1,278	1,559	1,524
前年同月比(%)	159.4	53.7	43.9	58.2	112.2	104.9	67.1	91.1	91.8

<楽器>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,617	2,660	3,000	3,283	3,211	3,099	3,062	2,707	3,166
前年同月比(%)	13.5	▲3.9	8.4	▲5.6	▲4.1	5.0	8.9	▲10.7	0.5

<缶詰>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	1,071	901	937	1,036	1,110	993	873	842	1,006
前年同月比(%)	7.6	▲6.7	▲0.6	▲0.7	7.3	4.7	▲5.7	▲5.5	▲0.2
うち水産缶詰(%)	▲2.9	▲13.3	▲6.6	▲5.9	2.8	▲1.8	▲16.9	▲8.3	1.2
農畜産缶詰(%)	32.8	10.0	14.9	11.7	17.9	19.8	23.9	0.2	▲2.8
飲料缶生産高(千ケース)	8,377	6,578	6,904	6,575	7,153	5,910	4,888	6,002	8,263
前年同月比(%)	17.3	▲11.2	1.9	▲4.5	2.1	▲3.7	5.1	8.1	6.9

<繊維>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	1,096	1,070	1,307	1,370	1,530	1,381	1,224	1,140	1,080
前年同月比(%)	▲3.7	▲6.9	▲2.7	▲8.4	▲11.0	▲15.7	▲16.2	▲13.1	▲15.8
小幅織物(千㎡)	24	20	23	26	26	25	25	24	22
前年同月比(%)	▲12.3	▲14.7	▲16.5	▲10.8	▲14.3	▲16.6	▲14.2	▲13.7	▲16.4

<観光>

	R元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月
観光施設(10施設)入込 (千人)	304	514	371	313	382	264	313	301	345
前年同月比(%)	6.0	▲3.2	4.7	▲15.9	▲2.9	▲6.7	2.3	8.2	▲28.2
有料道路(4路線 [※])通行量 (千台)	726	881	714	495	556	564	512	556	532
前年同月比(%)	▲3.4	▲1.1	5.8	▲9.4	▲1.8	0.7	▲1.2	8.4	▲13.3

[※]令和元年9月までは5路線、令和元年10月以降は4路線

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和2年5月号 通巻529号

発行 静岡県経済産業部
令和2年5月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>